

雪センターのサービスと会員の活動

雪対策の推進による、地域の向上・発展

- 1 冬期間の障害の軽減・克服 → 住民生活の向上、地域経済・社会の発展
- 2 安全・安心の確保 → 確保を前提とした地域社会の進展

雪対策を取り巻く環境の激変

- 1 気候変動・記録的異常現象多発 → 局地的・集中的降雪 異常豪雪・少雪
- 2 急速な少子高齢化・過疎化 → 住民の雪への対応力低下
- 3 住民の連帯弱体化・要求多様化 → 行政への依存拡大・行政の負担増大
- 4 建設業の経営環境の悪化・人手不足 → 雪対策の担い手の弱体化
- 5 自治体の責務の増大と財政制約 → 行政の対応の限界

対応の限界と危機的状況の発生

- 1 対応の限界の顕在化 → 従来の対応の限界、対応不可能
- 2 危機的状況の発生 → 甚大な被害、生活・経済の長期的混乱

新たな活動と連携・協力体制の強化の必要

- 1 情報収集・整理・分析・発信 → 現状把握、課題の明確化
- 2 関係機関の連絡調整・情報共有 → 連携・協力体制の確立・強化
- 3 関係機関の連携・協力した活動 → 広域的、総合的、迅速な対応
- 4 住民等への広報・協力要請活動 → 住民等の理解と協力による雪対策
- 5 一団となった国への働きかけ → 国の理解と支援、要望の実現

雪センターの会員サービス

- 1 機関誌の発行 関係機関からの情報入手 雪対策の実情発信
- 2 メール配信 雪関係・総合行政・統計情報を適宜受信
- 3 HP情報 雪関係業務、雪・道路の状況等の情報の入手
- 4 HPへの掲載 会員の活動・貢献を全国に発信
- 5 自主的活動支援 講演会・研修等による情報共有・資質の向上
- 6 連携・協力活動支援 地域の連携・協力体制の確立・強化 総合的な雪対策
- 7 国への要望活動支援 要望書作成 国への要望活動 要望の実現
- 8 研究会・会議の後援 最新の技術・情報の習得 発表の機会

会員はこれらのサービスを受けて、雪国の発展に取り組んでいます



編集・発行／公益社団法人 雪センター

2022年(令和4年)9月16日

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1丁目3番17号

日本橋三洋ビル7階

TEL 03(6740)2941(代表) FAX 03(6740)2942

ホームページ <http://www.yukicenter.or.jp/>

構成・印刷

日本印刷株式会社

〒170-0013 東京都豊島区東池袋4-41-24

TEL 03-5911-8660(代表)

ゆき 2022 9 No.128



2022

9

No.128

特集 雪対策の担い手の確保と育成



特集 雪対策の担い手の確保と育成

公益社団法人雪センター

